

<平成29年度 ハローオリンピズム事業>

# オリンピック教室

実施報告書

埼玉県 川越市立大東西中学校

Olympic  
Movement



公益財団法人日本オリンピック委員会



現行の学習指導要領は平成21年（2009）4月に公示され、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目 体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが明確化されました。そこには、中学校3年生の保健体育の「体育理論」の学習内容に、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会等は、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていること」とオリンピックの意義が明示されております。

これを受けて日本オリンピック委員会（JOC）では、平成23年度（2011）から、体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、「ハローオリンピズム事業」の一つとして、授業形式で行う「オリンピック教室」を実施しております。

近代オリンピックの創始者ピエールド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表として実際にオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その栄誉を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められております。このようなオリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることも期待しております。

「オリンピック教室」の授業は、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）及びオリンピック精神の教育的価値等を伝えます。また同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことの出来るものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身に学習してもらうこともねらいとしております。

平成23年に施行された「スポーツ基本法」の前文の一部に「スポーツは、世界共通の人類の文化であり、次代を担う青少年の体力を向上させるとともに、他者を尊重しこれと協同する精神、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培い実践的な思考力や判断力を育む等人格の形成に大きな影響を及ぼすものである」との記述があります。生徒のみなさんが「オリンピック教室」で学習する内容は、まさにこの基本法に記された精神や態度等を日常生活の中へ具現化することを後押しするものであると考えています。

平成29年4月

公益財団法人 日本オリンピック委員会



- 実施目的** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、オリンピアン自身の様々な経験を通して「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、この価値はオリンピアンだけのものではなく、多くの人々が共有し、日常生活にも活かすことの出来るものであることを授業を通して学習してもらう
- 名 称** : JOCオリンピック教室
- 主 催** : 公益財団法人 日本オリンピック委員会
- 後 援** : スポーツ庁
- 協 力** : 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対 象** : 中学2年生
- 講 師** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）  
※派遣オリンピアンはJOC側にて選定
- 期 間** : 平成29年4月～平成30年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数** : 50校程度
- 実施方法** : クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

1時限目  
運動の時間 (50分)



2時限目  
座学の時間 (50分)



※学校の通常の授業時間をベースに実施  
※運動の時間と座学の時間の間に10分の休憩時間があります



## 1時限目

### 運動の時間

オリンピックの専門競技の技術指導（＝スポーツ教室）ではなく、  
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

#### 挨拶（5分）

#### 準備体操（10分）

#### 主運動（30分）

#### まとめ（5分）



自己紹介  
今日の学習内容の確認



準備体操



主運動  
（作戦タイム等）を設け、  
生徒が考える機会を作る



運動の授業のまとめ

※時間は目安です  
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

## 2時限目

国際オリンピック委員会（IOC）が推進する「オリンピックの価値」等を、  
オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、あるいは実際に  
オリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えると  
同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、今後に活かせるような学習内容

### 座学の時間

#### 挨拶・自己紹介（10分）

#### オリンピックの価値を伝える（10分）

#### グループワーク（20分）

#### まとめ（10分）



学習内容の確認



写真・映像等を使用  
した自己紹介



オリンピック自身の経験に  
基づく「オリンピックの価値」等  
を伝える



グループ（個人）ワークで  
話し合った内容を発表



全体のまとめ/記念撮影

※時間は目安です  
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます





## 実施内容

- 期 日 : 平成30年1月17日 (水)
- 場 所 : 川越市立大東西中学校
- ク ラ ス : 2年3組 (33名) 2年2組 (33名)
- オリンピアン : 田中 和仁 先生 (体操)
- 授業のながれ : 運動の時間 (1時限、3時限)

### 1. 自己紹介～授業の目的確認



・簡単な自己紹介の後、今日はオリンピックバリューや競技を通じて感じたことを伝えていきたいと話し、運動の時間は身体を動かしながら楽しんでほしいと伝え、準備運動に移る。その後前転、後転、側転、倒立前転、宙返り等のデモンストレーションを披露。

### 2. 準備体操



### 3. 主運動



・2班ずつ3チームに分かれて馬跳びを実施。70秒間で連続して跳べた回数を競い、馬が倒れたり、跳ぶ人が転んだら0から数え直すこととした。

### 4. まとめ



・運動の時間は、皆で作戦を立てて、制限時間ギリギリまで頑張ってくれたことが良かったと伝える。次の座学の時間では田中先生の経験や、オリンピックバリューについて詳しく話すので、運動の時間を思い出しながら教室に戻ってほしいと伝え、授業を終了。



# 実施内容

## ■授業のながれ：座学の時間（2時限、4時限）

### 1. 自己紹介と授業の目的を確認



### 2. オリンピックの価値を伝える



- ・映像を見せながら自己紹介。オリンピックのイメージを問い、ボランティアや会場で観戦する等オリンピックには様々な関わり方があり、東京2020大会では川越市でゴルフ競技が行われるので、オリンピックの迫力を間近に感じてほしいと伝える。
- ・田中先生1人では諦めそうになる場面でも、同じ競技に取り組む妹と弟がいたから頑張れたことや、ロンドン大会出場を目指す過程での経験を、バリューに当てはめながら説明。

### 3. グループワーク



- ・発問: 普段の生活で実践していることや運動の時間の中で気がつけたことをオリンピックバリューに当てはめて考えよう。
- ・発表: 見えない努力を積み重ねること、やりたいという希望をやるという覚悟に変える(エクセレンス)、無理だと思っていた壁を越えたときに仲間がいる心強さを感じた、1人ではできないことも皆で協力すればできる(フレンドシップ)、いつも使っている体育館の雑巾掛けをした、切磋琢磨できるライバルや支えてくれる全ての人に感謝する(リスペクト)等の意見が挙げられた。

### 4. まとめ



- ・オリンピックバリューは皆の日常生活にも当てはまる場面が多いため、これからの生活の中で意識してほしいと話す。
- ・グループワークで発表してもらった通り、家族に「いつもありがとう」と感謝の気持ちを伝えてほしいと伝え、授業終了。





## 実 施 内 容

- 期 日 : 平成30年1月17日 (水)
- 場 所 : 川越市立大東西中学校
- ク ラ ス : 2年1組 (34名)
- オリンピアン : 黒須 成美 先生 (近代五種)
- 授業のながれ : 運動の時間 (5時限)

### 1. 自己紹介～授業の目的確認



・黒須先生から簡単に自己紹介をした後、今日は「オリンピックとは何か」を一緒に考えようと授業の目的を確認し、準備体操に移る。

### 2. 準備体操



### 3. 主運動



・6班に分かれてレーザーランをイメージしたリレーを実施。①バスケットボールを両手でドリブル、②フェンシングのマルシェの動きで前進③ランニング④机上の紙コップを1人2個積み上げて次の人にバトンタッチ。ゴールしたタイムと紙コップを積んだ高さに応じて特典を加算。



### 4. まとめ



・黒須先生から皆が一生懸命取り組んできたことがよかったと伝え、次の座学の時間ではオリンピックバリューについて詳しく話すので、運動の時間に取り組んだことを振り返りながら教室に戻ってほしいと伝え、授業を終了。





# 実施内容

## ■授業のながれ：座学の時間（6時限）

### 1. 自己紹介と授業の目的を確認



・ロンドン大会の映像を見せながら、近代五種競技について紹介。オリンピックのイメージについて生徒達に問いかけ、黒須先生がオリンピックに出場した経験から得られたオリンピックバリューについて説明。

### 2. オリンピックの価値を伝える



### 3. グループワーク



・発問:運動の時間や日常生活の中にあるオリンピックバリューを考えよう。  
・発表:体育祭や球技大会の練習で団結できるように頑張った、試合で結果を出す(エクセレンス)、ひとつのことに皆で取り組む、お互いの意見を尊重して友情を深める(フレンドシップ)、尊敬する人を目標にする、家族への感謝(リスペクト)等の意見が挙げられた。

### 4. まとめ



・オリンピックバリューはオリンピックだけのものではなく、皆の生活の中にもオリンピックバリューがあり、目標に向かって努力することで、支えてくれる人への感謝の気持ちを表すことができる。目標を持って最後まで諦めずに頑張してほしいと伝える。  
・東京2020大会では埼玉県内でも多くの競技が行われるので、オリンピックに興味をもち、バリューを広めてほしいと伝え、授業終了。



■ 集 合 写 真

2年1組



2年2組



■ 集合写真

2年3組



■ 記念品贈呈

2年1組



2年2組



2年3組



■ 証明書贈呈

